サンプル

第2回　日本転倒予防学会認定「転倒予防指導士」認定試験

50問　70分間

試験解答日　　平成28年　2月　14日

氏名（カタカナ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

各設問を読んで、正しい場合には○　間違っている場合はに×　を選択記入してください。

1 転倒は多種多様な要因が関連しているので、転倒予防には多職種で取り組まなければならない　○・×

2 日本における地域在住高齢者の転倒者発生率は約10～20％、施設入居高齢者で約30％である　○・×

3 日本における大腿骨近位部骨折は、2012年には約17万人に、年々増加している　○・×

4 地域在住高齢者への運動介入において、太極拳やバランス訓練を含む介入は有効である　○・×

5 パーキンソン病は、すくみ足で小さな段差につまずきやすいために、転倒しやすい神経疾患である　○・×

6 レビー小体型認知症は、初期よりパーキンソニズムが出現し、転倒を起こしやすい　○・×

7 日本の病院での転倒率は3～5‰（3～5人／1000人延べ入院患者数）である　○・×

8 運動のみよりも、運動に栄養（アミノ酸）を加えた方が、筋量や筋力が有効に増加する　○・×